
小十郎と揚羽様の1日

かるびーえーる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小十郎と揚羽様の1日

【Zマーク】

Z7934C

【作者名】

かるびーえーる

【あらすじ】

『「みなどそふと』様のPCゲーム『君が主で執事が俺で』の中の九鬼揚羽と武田小十郎のちょっとしたお話です。

(前書き)

小十郎視点です。

あじいじいじいじいじいじいじいじいじい（叫喚）

オス！みんな！俺は武田小十郎！九鬼揚羽様に使える執事だつ！
今俺は朝、揚羽様を起こしに揚羽様の寝室に向かっている途中だつ！
おつと！もう着いちまつたぜ！

バターン……（ニアガ開く音）

「揚羽様！！おはよござりますーー！」

「朝から……騒々しいわつ！バカモノ！」

バキッ！

「ぐふう……」

や・・・・効いたぜ！さすが揚羽様！！お強い！！

「まつたく……ん？小十郎？今何時だ？」

「朝の4時でござります。揚羽様」

「…………」

「…………（元）」

「なんだ……その……」「してやつたり」的な笑顔は……まだ全

然学校に行く時間には程遠いではないか！

バキン！！！

今日も騒々しい一日が始まりつつしていた・・・

朝の8時

揚羽様が登校する時間帯だ。

無論、俺は揚羽様をお守りするため付き添う。
いや！しかし！揚羽様はいつ見ても凛々しいお姿！その額にある十
字の傷もすばらしい！

「いやあ！揚羽様！しかし今日はいい天気ですね！」

「せつせつせつへー今田せんれい君のためにあるねがうな田んーー。」(笑)

正月の御内祝い

• • • (略語)

卷之三

「汗」

「小十郎……貴様が余計なことを言つから雨が降つてきたではな
いか……」の・・・！雨男があ……！」

ばさつ！

くつ・・・なんてこいつた！俺としたことが・・・！くつ・

「！仕方ない！傘を貸せ。」小十郎

「どうぞ！！揚羽様！！！」

「なんだ?」このファンシーな傘は?

「はいっ！！！たしか揚羽様はキイちゃんがお好きでしたよね？」
「なのでかわいいこの傘にしてみました！」

「何年前の話だつ！！！バカチンがつ！！！余計なことをするでない！！！」

— ! . ! . ! . ! . ! . ! .

「よし！小十郎！私はこの登校時間が暇である！何か面白い芸でも見せるが良い。小十郎」

「げ・・・芸・・・ですか？」

「そうだ。卑くするが良い

「・・・・・（汗）」

「・・・・・ビウした？」

「・・・・・（汗）」

「・・・・・」

とびっきりの俺のスマイルを揚羽様にプレゼントフォーグー！

「ないなら」と言えつ！ 気味悪い笑顔を見せるなつ！ 気色悪くて仕方ないわつ！ バカモノがあああああ！

べきやつ！

「げぼお！ 申し訳ありません！ 揚羽様！」

「まったく・・・我が小十郎に何かを期待してたのがバカだつたわ。 もうよい。 我は疲れた。 おい！

小十郎！ 次はイスになれ！ イス！」

「はあはあ、かし」まつましたっ！ 楊羽様。」

（10秒後）

「揚羽様どつぞつーお座りください」

「…………なんだ？　これは？」

「『小十郎イス』でござりますつー、じつわつー存分にお座りくださいませつ！揚羽様！」

バキヨーン！

揚羽様が学校でお勉強している間に俺は揚羽様をお帰りになるまでこの学校の門の前で待機している。

そして俺の良き友人もとい同業の上杉鍊^{うえすぎれん}がよくしゃべり相手になつてくれるんだ。

「お前のところも大変だな・・・（汗）」

「何を言う！ 大変なことがあるか！ 揚羽様に仕えることがどんなに幸せか貴様にはわかるまい！」

「いつも殴られてばっかじゃねえか・・・」

「何を言つ！ あれは俺と揚羽様の一種の『ハラニケーション』のひとつだ！ 喝を入れてもらえる幸せ……………」

「ただのドミじゃねえか……（汗）

「ああっ！俺はドMだつ！」

「同意したつ！？」

「悪いがつ！？」

「いや別にいいけどYO!」

それぐらい俺と揚羽様は「〇×エ」〇×エつてことなのねー！」
や、違つー（

「しかし……それにしてもやりすぎだよな……揚羽様は……まさしく、鬼だヨ。鬼」

「なにいい！？貴様つ！揚羽様をバカにする気かっ！死すコン（シスコン）のくせに！！」

「てめつ……字が違うぞ」「あ……それはつまり……あ～ん

「言いやがつたな！――ぶつ殺すテメー――！」

どかばれぬれどかばれぬれどかばれぬれどかばれぬれどかばれぬれどかばれぬれど

・・・あれから俺達は警察にしょっぴかれ、事情聴取をとられてよ
うやく解放された・・・

「くっ！！！俺としたことが・・・！！！もう、揚羽様の下校時間

揚羽様！すぐにお迎えに行きます！待つていてください！

卷之三

• • • •

「はあはあはあ・・・！揚羽様・・・」無事で！なによつ・・・！

「はあはあはあ・・・? 楊羽様?」

「一の二」

「？」

「……………」

「…………ひー！ 擬羽様！！！ 申し訳あり……」

「…………ひっく…………ばかものが…………ひっく…………心配…………。
・それもあつて…………ひっく」

揚羽樣

・
・
・
・
・
**そ
う
だ**
・
・
・
・
・
・

揚羽様は昔から人一倍気が強く心優しいお方だった・・・

弱いものいじめはなによりも許さなかつたんだ・・・

なにより正義感が強く・・・

だから・・・俺は・・・

そんな心優しい揚羽様のことが・・・・・好きになつたんだ・・・

「揚羽様！――小十郎は・・・・・」の小十郎はこの先どんなことがあらうとこの身になにがあらうと一生揚羽様のことをお守り続けます！――だから・・・・・だから――――揚羽様！――
俺、小十郎のことを信じてください――――必ずや・・・・・必ずや！――全力でお守りいたします――

――――――――――

「小十郎・・・・・」

「揚羽様・・・・・」

どくどくどくどく（心音）

あ・・・・揚羽様の美しきお顔が俺の・・・俺の顔に・・・その唇が・・・・

「・・・・・」

どくどくどく（心音）

あと一三・・・・・

「・・・・・」

あと30cm・・・・!!

—
•
•
•
•
•

わべとくわんとくわんとくわんとくわんとくわん

あと100m

卷二

-
^?
[

俺を殴った直後の揚羽様は少し微笑んでいるように俺には見えた

終

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7934c/>

小十郎と揚羽様の1日

2011年10月4日06時06分発行